

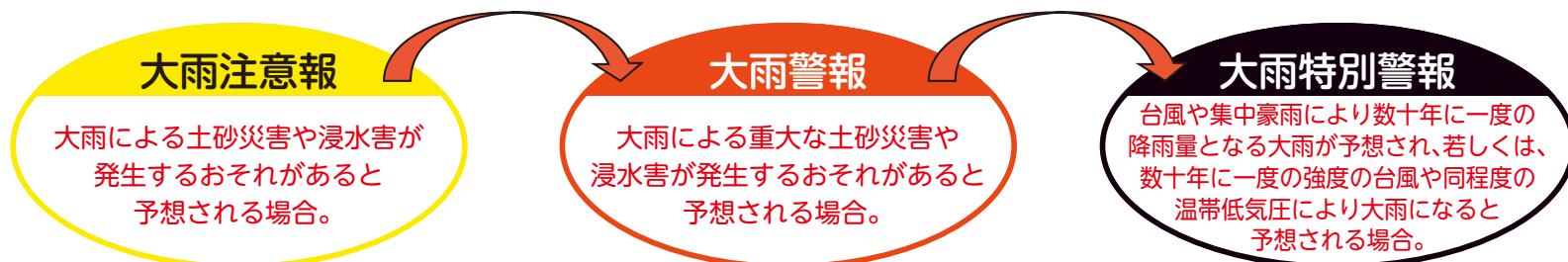


風水害・台風

大雨や台風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！こんな時のわが家の安全対策

大雨注意報・警報・特別警報の発表基準



特別警報は大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。

特別警報が発表されたら

- 尋常でない大雨などが予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

(1時間雨量:mm)				
10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上～
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら注意が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川なら氾濫、また、がけ崩れの心配もあります。	がけ崩れが起こりやすくなり危険地帯では避難の準備が必要です。道路規制が行われることがあります。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなり、傘は全く役に立たなくなります。土石流が起こりやすくなり、多くの災害が発生する可能性があります。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)				
10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～25m/秒未満	25m/秒以上～30m/秒未満	30m/秒以上～
やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていなくて立っているだけで、飛来物によって負傷するおそれがある。		屋外での行動は極めて危険。

台風

日本には、毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらしています。台風の接近が予測される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

(平均風速:m/秒)			
大きさ	風速15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒 以上～44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒 以上～54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒 以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は難しく、中小河川の氾濫、がけ崩れ、土石流などによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ◆ ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- ◆ 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ◆ 非常時持ち出し品を準備しておく。
- ◆ 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備する。
- ◆ 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ◆ 浸水に備え、家財道具は高い場所へ移動する。

記録的短時間大雨情報

県内で数年に一度しか発生しないような猛烈な短時間の大雨を観測または解析したときに、府県気象情報の一種として発表されます。(発表基準:鹿児島県は120mm/1時間雨量)